

第19回 全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会開催要項

本大会は、学校部活動で十分能力を発揮することができない生徒・学生が中心となり、学校を超えて、地域で年間を通じてバレーボール活動を行い、その成果を発揮し、活躍できる大会として、また、地域で誰もが青少年の指導者等となり、「支えるスポーツ」としてバレーボールに親しみ、活躍することができる大会を目的として開催する。

1. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本ヤングクラブバレーボール連盟
読売新聞社 報知新聞大阪本社
2. 主管 第19回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会実行委員会
大阪府バレーボール協会・大阪府ヤングクラブバレーボール連盟
3. 後援 文部科学省 大阪府 大阪市 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会
(申請予定) 公益財団法人大阪体育協会
4. 協力 (株) デサント (株) 読売テレビエンタープライズ (株) 日本旅行
(株) フォトクリエイト 大森工業 (株)
5. オフィシャルバール 男子：ミカサ(MVA300) 女子：(株)モルテン(V5M5000)
6. 開催期間 2016年 9月24日(土)・25日(日) 2日間
2016年 9月23日(金)レフェリークリニック・代表者会議
7. 会場 大阪府立門真スポーツセンター・大阪府立体育会館
8. 参加資格 大会開催の趣旨に基づいて編成され、年間を通じて、継続的に活動しているヤングバレーボールクラブで、次の各項に掲げる要件をすべて満たすクラブチーム。
 - (1) 日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された地域クラブチーム。
日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された選手とチームスタッフによって構成されたチームで、責任のとれる成人を代表者とするチーム。
ただし、年齢基準は、2016年4月2日現在とする。
※U14 (14歳以下)、U19 (19歳以下：主として15歳以上)
 - (2) コーチングスタッフ(監督・コーチ・マネージャー)のうち1名は、公益財団法人日本体育協会公認の指導者資格(コーチ・上級コーチ、指導員・上級指導員)を有し、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録されたもの者とする。
監督及びコーチは有資格者であることが望ましい。
 - (3) 各都道府県ヤングクラブチーム統轄団体に推薦されたチーム。ただし、統轄団体が設立されていない都道府県については、各都道府県バレーボール協会長が推薦するチーム。
 - (4) 学校の部活動単独チーム及び明らかに学校部活動単独チームに近いチームの参加は不可とする。また、同一クラブの複数参加を制限することがある。
 - (5) 別に定める「大会参加申込みにあたってのお願い」に同意し、代表者が責任を持って大会運営に協力できるチーム。

※ 8. 参加資格の大会開催の趣旨に基づいて編成されたチームとは、次の①、②に該当するチームであること。

①学校を超えて、年間を通じて地域で継続的に活動する地域密着型クラブチーム。
②ジュニア一貫指導の一環として、広域的に選手を募り、年間を通じて継続的に活動する広域型クラブチーム。

「年間を通じて継続的に活動する」、「学校部活動で十分に能力を発揮することができない生徒・学生が中心」という本大会の趣旨を踏まえ、推薦チームを優先すること。
9. 参加チーム U14男子・女子
 - (1) 都道府県ヤングクラブ連盟・都道府県協会の推薦する男女各1チーム。
 - (2) 上の(1)で予定チーム数に満たない場合は、各連盟、各都道府県から補欠チームとして予め参加希望を募り、実行委員会において選考する。

U19男子・女子

 - (1) 都道府県ヤングクラブ連盟・都道府県協会の推薦する男女各1チーム。
 - (2) 上の(1)で予定チーム数に満たない場合は、各連盟、各都道府県から補欠チームとして予め参加希望を募り、実行委員会において選考する。

その他

公益財団法人日本バレーボール協会・日本ヤングクラブバレーボール連盟が推薦するチーム。

補欠チームの選考について、以下の項目順に決定する。

 - (1) ヤングクラブ連盟推薦チームを優先する。
 - (2) 締め切り時のJVAMRSの都道府県別登録選手合計数を参考に選考する。
 - (3) 締め切り時のJVAMRSの都道府県別登録合計チーム数を参考に選考する。
10. 競技規則 2016年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
ただし、チームは最大限14名の競技者で構成してよい。(リベロを除く正規の競技者は最大限12名)。また、参加チーム数により本大会独自のルールを採用する場合があります。詳細については、大会ホームページ(大会HP)・レフェリークリニック・代表者会議で通知する。
11. 競技方法 (1) 競技は、男女別に次の種別で行う。
 - ① U-14 (14歳以下) ② U-19 (19歳以下：主として15歳以上)
 - (2) 各種別とも参加チーム数により競技方法を定め、事前に大会HPで通知する。
 - (3) 抽選については、実行委員会にて代理抽選をする。
 - (4) 参加チーム多数の場合は、1日4試合行う可能性がある。また、18回大会までのように両日の試合を保証できないことがある。

12. チーム構成 (1) 1チームの人数は、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター各1名と選手18名の計24名以内とし、選手については、試合ごとに最大限14名(リベロを除く正規の競技者は最大限12名)をエントリーする。
 (2) 競技中、コート上の6人の選手は、同一学校の選手のみとなることは認めない。もし、違反が確認された場合、その時点で没収試合とする。
 (3) 二次申込書提出後の選手変更及び背番号の変更は認めない。
 (4) 審判員(有資格者が望ましい)を帯同すること(コーチングスタッフで行うこと)。審判員はできるだけレフェリークリニックに参加すること。
 (5) 監督・コーチ・マネージャーは、1人につき1チームのみの登録とし、複数チームの兼任はできない。
13. 参加申込み 大会HPから申込用紙をダウンロードし、一次申込書を郵送すること。その際、「大会参加申込みにあたってのお願い」を熟読し、同意の上申し込むこと(意見・不明な点がある場合は、申し込み前に必ず問い合わせること)。
 〈申込み・問い合わせ先〉
 〒572-0016 大阪府寝屋川市国松町23-6 国松郵便局留置
 大阪府立大学工業高等専門学校 橋爪 裕
 (問い合わせ先)volleyball@email.plala.or.jp
 080-2001-1574(携帯電話)
 各都道府県ヤング連盟が設立されている場合はヤング連盟印、ヤング連盟が設立されていない場合は都道府県バレーボール協会印のないものは受け付けない。
 ※出場決定は、大会参加にかかる詳細を定めた実施要項を参照の上、出場手続きを行うこと。(大会HPに掲載する。)
 ※二次申込送付時、選手・番号の変更を認める。
 ※プログラム掲載用にチーム全員の集合写真(データ)を準備しておくこと。
14. 参加料 1チーム 15,000円。
15. 空調費 空調費として、参加料と同時に10,000円を仮徴収する。大会後、体育館空調費を精算の上、指定の口座に返金する。
16. 申込締切日 7月18日(月)必着(厳守すること)
17. 代表者会議 9月23日(金)19時から「大阪府立門真スポーツセンター(なみはやドーム)」で行う。チーム代表者1名は、必ず出席すること。
18. 情報交換会 9月24日(土)19時から開催するので、できるだけ1名は出席すること。詳細については、大会HPで連絡する。(会費:5,000円程度を予定)
 情報交換会終了時、1日目の試合結果と2日目の試合の組合せ表を配布する。
19. 開会式 開会式は、9月24日(土)9時00分から門真スポーツセンターで行う。
 閉会式 選手は全員参加すること。
 表彰式 閉会式は、9月25日(日)全試合終了後に門真スポーツセンターで行う(ただし、17時以降になる場合は、17時から個別に表彰式を行う)。大阪府立体育会館においては、試合終了後に対象チームに対し、表彰式を行う。
20. 表彰 男女上位チーム及び優秀選手を表彰する。詳細は代表者会議で案内する。
21. その他 (1) ユニフォームは、揃えること。開会式・閉会式(表彰式)には統一した服装で参加すること。選手のユニフォームはJVAの公認するメーカー製であることが望ましい。
 ※JVA公認・推薦企業商品以外のもをを着用または使用する場合、プロトコルからゲーム終了までは、原則として、マニュファクチャラーロゴ・ブランド名・シューズであれば企業を連想させるライン等を隠すこと。
 (2) 副審・補助役員(線審・点示員)は、参加チームに割当てをする。
 (3) 原則として、宿泊を伴うチームは、大会中の感染症や台風襲来等、不測の事態発生時における大会本部との連絡調整や安全・安心等の観点から、旅行業法に基づく補償金等の支払いも付保された大会公式宿泊を利用すること。
(1泊朝食付、税・サービス料込み8,500円程度)
 宿泊斡旋希望者には、(株)日本旅行担当者から連絡する。
 (4) 練習コートは、設けない。
 (5) 選手は、大会前に健康診断を必ず受けること。なお、選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分管理すること。
 (6) 試合中の傷害に関して、参加者全員(選手・スタッフ)を対象に、主催者が下の傷害保険に団体加入する。
 (保険加入内容:予定) ①死亡・後遺障害 8,182,000円
 ②入院(日額) 3,000円
 ③通院(日額) 2,000円
体育館外での事故への対応として、各チームで保険に加入する等、十分な対策を取ること。
 (7) 選手・スタッフのけがについては、看護師による応急処置・救急車の要請はするが、上の加入予定傷害保険以外、一切責任を負うことができない。
 (8) 参加選手及びスタッフは、健康保険証を持参すること。
 (9) 体育館への来館は、公共交通機関を利用すること。
 (10) 特別な理由があり、申込期限後に予選を行う予定の都道府県連盟(協会)は、事前に問い合わせ先まで連絡すること。
 (11) 大会に関する連絡や変更は、日本ヤングクラブバレーボール連盟19回大会ホームページで行う。
[\(http://www9.plala.or.jp/youngvolleyball/\)](http://www9.plala.or.jp/youngvolleyball/)